

こんにちは

# 会社訪問記

明るく輝く街づくりをめざして  
美しく、丁寧に、迅速に処理いたします。

## 有限会社明輝クリーナー

(愛知県豊橋市)

緑あふれる渥美半島の付け根、豊橋市のほぼ中央に位置する有限会社明輝クリーナー。中間処理に積極的に取り組んでいらっしゃるという小島社長、村田主任に事業内容、協会への要望等、お話を聞きました。

—いつ創業されたのですか。

小島社長(以下小島に略)『昭和47年、私が20歳の時にこの仕事を始めました。翌年、廃掃法の改正と同時に豊橋市一般廃棄物処理業許可業者となり、本格的に事業をスタートしたわけです。そして、昭和52年に当社を設立しました。』

—現在の従業員は何名いらっしゃいますか。

小島『55名です。』

—社訓を教えてください。

小島『社訓は“みんなに信頼される仕事”です。やはりこの業種は信頼があってこそできるものだと思いますから。』

—では、従業員教育で特に注意されている点は何でしょうか。

小島『収集運搬を主力としていますので、ドライバーの運転マナーには細心の注意を払って教育しています。街を走る時には、汚水を飛散させたり、廃棄物を落とさないよう、基本を徹底。あわてず、



小島社長

急がず、節度を持って安全運転を行うように指導しています。また、従業員一人ひとりの能力も当然異なるわけですから、本人の希望も考慮しながら適材適所への配置を心

掛けています。いい汗を流して働いてもらいたいですからね。』

—福利厚生については、どのように考えていらっしゃいますか。

小島『ボーリング大会、ソフトボール大会、食事会など従業員のコミュニケーションの場づくりを

できるだけ多くつくれるように努めています。また、浜名湖に会員制のリゾートホテルを保有し、従業員に解放しているのですが、まだまだ浸透していないよう

です。もっと家族で使ったり、仲間同士の遊びの拠点にしたりと、自由に利用してほしいですね。』

—休日体制はどのように取り組んでいますか。小島『従業員をA班B班の2つに分けた、交替制で休む隔週の土・日週休二日制を採っています。』

—ところで、社名の由来は何か意味があるのですか。

小島『私の名前の晃という字が、辞典で調べると“明るく輝く”という意味があり、ここから取って命名しました。』

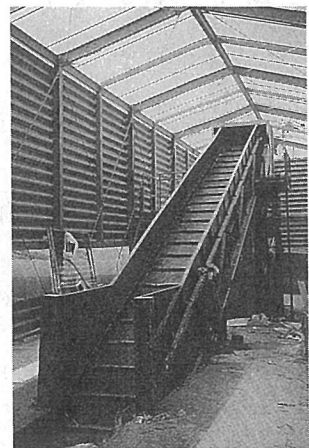
—そういえば、車両のカラーリングも明るくカラフルになっていていいですね。

村田主任『実はこのデザインは、私がしたものなんです。見よう見まねでやったんですよ。』



村田主任

小島『まだまだ、この業界はよくないイメージで世間から見られています。少しでもイメージアップにつながることを、どんどんやっていくべきでしょうね。』



廃プラ破碎処理施設



社名/有限会社明輝クリーナー 所在地/愛知県豊橋市若松町字中山101番地の34  
代表者/小島 晃 設立/昭和47年 従業員/55名 保有車両/35台 設備  
機器/20機種・260台 TEL 0532(25)1026 社訓/『みんなに信頼される仕事』  
事務所/本社、廃プラ破碎処理施設、リサイクル施設、減量化システム施設、大型破  
砕処理施設  
営業種別/収集運搬、中間処分 取扱い品目/燃えから、汚泥、廃油、廃酸、廃アル  
カリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、  
ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材、ダスト類、汚泥と廃油の混合物